

から12人に

議員発議で

なり手不足の解消を目指す

削減の理由 急激な人口減少への対応

人口減少・少子高齢化などの社会情勢の急激な変化や、他議会の状況を踏まえ、議員の立候補者を確保するために議員報酬の引き上げなどの処遇改善を要望するとともに、議員自ら議員定数の削減を行い、議員の質の向上とともに議会の活性化を目指す。



各々が町全体の議員として、今まで以上に町民の方々の声に耳を傾ける必要がある。

定数削減により、町政に対する民意の反映に地域の格差が生じることが心配される。活発な議会運営に向けて議員の質がさらに問われることになる。

議員の質の向上

問われる

近隣または同等人口規模の各市町の議員定数

市町	人口	議員定数
米沢市	82,213	24
長井市	27,399	16
南陽市	31,945	17
高畠町	23,878	15
小国町	7,878	10
飯豊町	7,365	10
朝日町	7,169	12
川西町	15,703	15
山辺町	14,602	12
遊佐町	14,224	12
白鷹町	14,189	14

平成29年5月1日現在

その結果、議員のなり手確保する手段の一つとして処遇を改善

きた。 ※議会たより134号に記事を掲載

平成27年に議会活性化特別委員会を設置し、議会活性化のための検討項目として『議員定数と議員報酬』について調査、検討を行った。

経過

しながら、議員定数を2人削減し12人とする

委員会の方針をまとめ、29年3月定例会において中間報告を行った。

6月 定例会

- 定例会は6月6日から14日までの9日間開催され、●平成29年度補正予算 ●人事案件13件 ●条例改正2件
- 議員発議による条例改正1件 ● 町道の認定・廃止7件について審議し、原案のとおり可決しました。
- 請願2件が提出され、1件を不採択、1件を継続審査としました。
- 一般質問は3議員が行い、町政全般について問いました。